

東日本大震災にあたって

東日本大震災は、我が国に未曾有の被害をもたらしました。地震と津波は、東北関東の太平洋側を中心に激甚被害を出し、引き続く原発事故も重なり、多くの避難被災者が出ております。

災害から復旧するために、国は総力を挙げて、被災地域の直接の救済援助と、被災避難者への継続的支援、そして原発事故の鎮静を行う必要があります。

政府は、災害の全容を把握し、起こりうる危機への対策を講じながら、国民へ現状を総括周知し、復旧計画を示さなければなりません。国難に際して、国民の叡智と復興への勇気を集める具体的な行動が期待されています。

我が国には、この度の大震災への復旧を遂げる国力がありますし、諸外国からの尊い援助もさしのべられています。また、原発事故も、作業員の極限的な献身と関係者の尽力によって、再臨界や長期被爆の危険性が最小化されつつあります。

被災者の当面の救済と、その後の生活再建のため、政府のみでなく、各産業界や地方公共団体が、協力して再建計画を立てる必要があります。

私達、医療者も、大震災への復旧と復旧協力に向けて、各地からの行動を起こしてまいります。

2011年 3月 20日
全国医師連盟 代表 黒川衛